



各 位

平成 18 年 11 月 16 日

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓
 (TEL 06-6397-1888)

業績予想（連結・単体）の修正について

平成 18 年 9 月 14 日に中間業績予想の修正を行いました。通期業績予想数値につきましては、決定次第お知らせすることとしておりました。熟慮し、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,117	1,631	934
今回修正予想 (B)	11,631	2,019	1,102
増減額 (B - A)	513	387	167
増減率 (%)	4.6 %	23.8 %	18.0 %
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	9,573	1,280	745

2. 平成 19 年 3 月期 単体業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,458	1,571	895
今回修正予想 (B)	9,038	1,955	1,065
増減額 (B - A)	580	384	170
増減率 (%)	6.9 %	24.4 %	19.0 %
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	7,341	1,240	720

3. 修正理由

調剤薬局チェーンやドラッグストア市場においては、出店競争や業界再編が加速しており、当社グループが保有する A S P のノウハウに対する需要が、引き続き高まっております。上半期においては、調剤薬局の新規開局が当初見込みを上回り、「Recepty」の新規導入へと繋がりました。併せて、業界内のグループ再編による他社製品からの切り替え導入も順調であり、販売件数の増加となりました。本年 6 月より本番稼働しております「EM フィールド コミュニケーションセンター (EM Field Communication Center)」（非対面営業センター）を活用した案件の発掘が実を結び、従来のビジネスモデルと絡めた営業展開により、自社リプレースの加速へと繋がっております。第 4 四半期には、5 年間無償保証切れユーザーの買い替え需要が大幅に見込まれており、他社リプレースと併せたユーザーの獲得に向けて、引き続き取り組んでまいります。また、医科システム事業につきましては、本年 11 月より「Medical Recepty」をリリースしたことにより、販売件数の増加が見込まれております。

このような状況が売上高、経常利益、純利益に大きく寄与し、平成 18 年 5 月 17 日に開示しました通期業績予想を上回る見込みとなりました。また、単体決算の業績予想の修正に伴い、連結決算の業績予想も修正いたします。

また、1 株当たりの配当予想につきましては、現時点で修正の予定はありませんが、業績動向勘案のうえ検討してまいります。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上